

第 64 回全日本学生弓道選手権大会

個人予選 手伝い要項 (女子)

*受付

手伝い要項	1
個人戦立組表 (記録用紙 E)	1
ボールペン	赤 2 黒 2

- ・ 選手の出欠を取り、同時に該当するゼッケンを渡す。
- ・ 選手が受付に来たら次のことを言う。
 1. ゼッケンは大学ごとに**全て**まとめて**午後の予選終了後**に返却すること。
 2. 予選を通過した場合もゼッケンは返却すること。
 3. ゴミは必ず自分で持ち帰ること
- ・ 欠席者を立組表に赤で「欠」と記入し、**招集と記録に欠席者のゼッケン番号を報告**する。
- ・ ゼッケンを無くした者がいたら、直ちに学連役員もしくは会場責任者に報告する。
- ・ **午後の予選終了後に全てのゼッケンを回収**し、立組表と照合して回収漏れの無いようにする。

*掲示

手伝い要項	1
個人戦立組表 (記録用紙 E)	1
養生テープ	1
マジック	黒 2 赤 1
白紙	3
スティックのり	1
はさみ	1

- ・ 記録から通過者番号表をもらい、白紙に「個人予選通過者」と記入の上通過者のゼッケン番号を順番に記入していく。

*的前審判

手伝い要項	2
全日学連規約	1
的中マニュアル	2
的中確認方法説明書	2
矢拭き布	4

- ・ 的中の判定は全日学連規約とその最終頁に付随する的中マニュアルに従う。
- ・ 的中表示は的出しで行う。(看的表示板が使用できる会場はそれを用いる)
- ・ 不明確な矢は的を水平に出す。
- ・ 行射終了後、**矢を取る前に**記録に向かって確認を行う。
※確認前に矢に触れた場合、その矢は無効となるので注意すること
- ・ 矢取りは素早く丁寧に行い、矢はすぐに矢立に戻す。

* 招集

手伝い要項	2
個人戦立組表（記録用紙 E）	2
ボールペン	黒 2

- ・ 受付から選手の出欠を聞き、立組表に欠席者を記入しておく。
- ・ 選手の招集、名前とゼッケン番号の確認、入退場の指示をする。
- ・ 欠席者がいた場合、欠番はつめずにあけておく。
- ・ 常に受付と連絡を取り、欠席者は招集しない。また、出席者で招集しても集合しない選手がいる場合は直接呼びに行く。
- ・ 1人は第一控えの選手をそろえるために道場内に、もう1人は第二控え以降の選手を集めるために道場外に位置する。
- ・ 道場外の招集は、第二控えに選手がそろい次第、以下の事柄を説明する。
 - (1). 1次予選では欠番はあける
 - (2). 1・3・5・7同時打起し。（中央大会会場は1・4・7・10同時打起し）
前の選手よりも早く離れた矢は無効となるので注意すること。
 - (3). 立射で行射
 - (4). ゼッケンは右腰につけ、番号がしっかり見えるように、裏返りは直すこと。
 - (5). ゼッケンは通過不通過に関わらず、大学ごとにまとめて午後の予選終了後に全て返却すること。
 - (6). 決定退場は行わないこと

* 記録

手伝い要項	1
全日学連規約	1
的中マニュアル	1
的中確認方法説明書	1
記録用紙記入例	2
個人戦立組表(記録用紙 E)	3
予選通過者表（記録用紙 F）	3
双眼鏡	1
ボールペン	赤 3 黒 3

- ・ 受付から選手の出欠を聞き、立組表に記入しておく。
- ・ 1人が前立ち4人、もう1人が後立ち4人を受け持つ。
- ・ 的中は自分の目で見て確認し、的中審判の的中出しと異なる場合には、学連役員の指示を仰ぐ。
- ・ ○×式で記録をとる。予選通過者には通過欄に→印を記入する。
詳しくは記録用紙記入例を参照のこと。
- ・ 選手のゼッケン番号をよく確認する。
- ・ 記録は、今後保存される正式記録となるので、丁寧に記入すること。
- ・ 記録に誤りがある場合は赤で訂正する。
- ・ 記録用紙を書きながら通過者表に通過者番号を記入していく。その通過者表は埋まり次第、掲示に渡す。
- ・ 的中の確認としっかり記録合わせをする。
- ・ 予選が終了したら、予選通過者表を書き上げる。